

平成25年4月26日

各 位

会 社 名 盟和産業株式会社
 代表者名 代表取締役社長 清水 俊彦
 (コード番号7284 東証第2部)
 問合せ先 総合管理部長 伊藤 明彦
 (TEL. 046-223-7611)

業績予想の修正、特別損失および繰延税金資産の計上に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、平成24年5月11日に公表いたしました平成25年3月期通期業績予想を下記のとおり修正するとともに、特別損失および繰延税金資産の計上につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

(1) 平成25年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期 純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	18,800	640	600	450	33.58
今回修正予想(B)	19,000	410	660	640	47.76
増減額(B-A)	200	△230	60	190	—
増減率(%)	1.1	△35.9	10.0	42.2	—
(ご参考) 前期実績 (平成24年3月期)	18,192	630	576	△1,571	△113.56

(2) 平成25年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期 純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	17,600	610	610	460	33.23
今回修正予想(B)	18,000	380	550	530	39.55
増減額(B-A)	400	△230	△60	70	—
増減率(%)	2.3	△37.7	△9.8	15.2	—
(ご参考) 前期実績 (平成24年3月期)	17,599	703	692	△1,454	△105.08

(3) 修正の理由

年度前半のエコカー減税による増産効果等により、売上高は連結・個別とも予想を若干上回る見込となりました。営業利益は、原価低減の不足、グローバル展開加速に伴う先行費用増等により予想を下回る見込となりました。

経常利益は、過年度に全額貸倒引当金を計上していた不動産関連債権（長期未収入金）の売却による利益計上や円高修正による為替差益の計上等により、連結では当初業績予想をやや上回る見込です。

当期純利益につきましては、下記特別損失の計上があったものの、有価証券売却益の計上や、繰延税金資産の計上等により、前回発表予想を上回る見込であります。

2. 特別損失の計上について

特別損失の内容および計上の理由は、以下のとおりであります。

リストラクチャリング費用（連結・個別とも）155百万円

（理由）中長期的に見込まれる自動車の海外生産シフトによる国内の自動車部品の市場縮小に対応し、組織のスリム化、生産設備や人員の配置見直しによる効率化等のリストラクチャリングを行いました。これに伴い発生する人員の異動関係費用、機械設備の除却費や移設費等の諸費用をリストラクチャリング費用として特別損失に計上する予定です。

3. 繰延税金資産の計上について

上記不動産関連債権売却による繰越欠損金の発生やリストラクチャリング費用の未払による一時差異の計上等に伴い、繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、繰延税金資産を73百万円追加計上する予定であります。

（注）上記の予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報から得られた判断に基づいており、実際の業績は、様々な要因により記載の予想数値とは異なる可能性があります。

以 上